

## サンククリーン

## 取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。



安全上のご注意	1~2
各部のなまえ	2
定格・仕様	3
ご使用方法	3
日常のお手入れ	3
止水栓の流量調節方法	4
凍結防止について	4
故障の症状、原因と対処	5
保証書	6
アフターサービスについて	裏表紙

- 保証書には「販売店又は取付店」「据付け引渡し日」などの記入がされているか、必ず確認してください。
- 施工説明書を施工業者から受け取られた後は、本書と同様に大切に保管してください。
- この製品を使用できるのは日本国内のみです。海外では使用できません。
- 転居される場合は新しく入居される方が製品を安全に使用するために、本取扱説明書および施工説明書を新しく入居される方、または取り次ぎされる方にお渡しください。
- 電気や水を使用する便座やヒーター、水抜栓、水道凍結防止帯など市販品または別売り品をご使用になる場合には、該当製品に同梱されている取扱説明書や施工説明書をよくお読みにになり、正しく安全に使用してください。

# 安全上のご注意

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたとき、また施工説明に従わず、正しく施工されなかったとき、火災、感電、漏水などの事故が発生し、人身事故や家財の損害に結びつくおそれがあります。安全に関する重要な内容ですので、ご使用前にお読みになり、必ず守ってください。



## 警告

傷害を負う、又は物的損害が生じるおそれがあります。



**たばこや暖房器具などの火気類を近づけない**

火災や漏水の原因になります。



分解禁止

**分解や修理、改造を絶対に行わない**

製品が破損してけがをしたり、漏水のため、家財などを汚す原因になることがあります。



## 注意

傷害を負う、又は物的損害が生じるおそれがあります。



必ず実行

**タンクふたを取りはずして、点検や調整を行うときは必ず止水栓を閉め、タンクの水を流してから行う**

止水栓を閉めないで水が噴き出し、家財などをぬらす原因になります。



禁止

**陶器にヒビが入ったり、割れた場合、破損部を素手で絶対にさわらない、使用しない**

破損部でけがをするおそれがあります。お求めの取付店・販売店または、アサヒ衛陶(株)お客様サービスセンターに修理を依頼してください。



必ず実行

**使用の際は、止水栓の流量調整を必ず行う**

フィルバルブ（ボールタップ）が故障した場合、タンクから水があふれて、家財などを汚す原因になることがあります。



禁止

**製品に熱湯を注がない**

樹脂製部品の変形、変色、陶器が破損してけがをしたり、漏水のため、家財などを汚す原因になることがあります。



禁止

**製品に強い力や衝撃を与えない**

陶器が破損してけがをしたり、漏水のため、家財などを汚す原因になることがあります。



禁止

**タンクふたは強く押したり、引いたりしない**

タンクふたは固定されていないため、落下してけがをしたり、製品が破損する原因になることがあります。



禁止

**タンクふたの上に造花などの飾り物を置いたり、タンク内に瓶などを入れない**

吐水が飛散したり、排水を阻害してタンクふたから水があふれ、家財などをぬらす原因になることがあります。タンク内に物を入ると、洗浄水量が減って、吐水、止水がスムーズにできず、洗浄不良の原因になったり、内部金具を破損することもあります。



禁止

**フレキホースなどの配管に無理な力を加えない**

配管が破損してけがをしたり、漏水のため、家財などを汚す原因になることがあります。



禁止

**紙は必ず市販のロールペーパーなど柔らかく、水に溶けやすい紙を使用し、一度に多量の紙を流さない**

詰まる原因となります。



必ず実行

**ウォーターダスターの元栓は使用後は必ず閉める**

ウォーターダスターが破損した場合に漏水のため、家財などを汚す原因になることがあります。



禁止

**薬品で拭いたり、かけたりしない**

酸性、アルカリ性、塩素系などのトイレ用または住居用洗剤および漂白剤、アルコール成分を含む洗剤および漂白剤、シンナー、ベンジン、アセトン、ラッカー、アルコールなどの溶剤や油類、クレンザーや磨き粉、殺虫剤、芳香剤、消臭剤を使用しないでください。ナイロンたわしなどで拭いたりしないでください。樹脂部が変形、変色、ひび割れを起こし（ケミカルクラック）、破損や故障、また怪我やかぶれの原因になります。便器への貼付タイプのジェル状の洗剤は排便装置部の消音パッキンをはがす原因になります。（P2「各部のなまえ」を参照のこと。）



禁止

**タンク内に洗浄芳香剤、塩素系洗浄芳香剤、ぬめり除去剤などを使用しない**

内部金具を痛め、止水不良などを発生させる原因になることがあります。



必ず実行

**長期不在の場合はタンクの水を抜く**

フィルバルブ（ボールタップ）の故障などで漏水するおそれがあります。



必ず実行

**凍結による破損の予防を行う**

凍結するとタンク、便器、給水配管や、ウォーターダスターが破損して、漏水の原因になります。



必ず実行

**露が発生した場合は、乾いた布で拭き取る**

梅雨時や冬の暖房時にタンク、便器、給水管、止水栓表面に結露が発生することがあります。その水滴が床に落ちて染みを作ったり、床を腐らせる原因になることがあります。



必ず実行

**別売り品のヒーター（RVX001）および暖房便座、温水洗浄便座を取り付ける場合、それぞれの取扱説明書および施工説明書を必ず確認する**

安全に取り付けを行い、安全に使用してください。

電気製品を使用する場合



**警告**

人が死亡、又は重傷を負うおそれがあります。



禁止

別売りのヒーター (RVX001) の定格電源は交流100V (50Hz/60Hz) 以外使用しない  
交流 200V、船舶などの電源を使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

別売りのヒーター (RVX001) は凍結のおそれがなくなったら、差し込みプラグを抜く

ヒーターの温度が上がり、火災の原因になります。



禁止

電源コードにキズをつける、ステップで固定する、加工を加える、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、束ねる、重いものを載せる、挟み込むなどしない

電源コードが破損すると、感電、ショート、発火の原因になります。電源コードが傷んでいるときは使用しないでください。



水ぬれ禁止

コンセントや電源コードに水や湯、小便、洗剤などをかけない

火災や感電、漏電、故障、変色の原因になります。



必ず実行

差し込みプラグのほこりは常にふき取る

火災や感電の原因になります。乾いた布で拭き取ってください。



水場での使用禁止

浴室・シャワー室など湿気の多い場所に取り付けない

火災や感電、電気部品の腐食の原因になります。



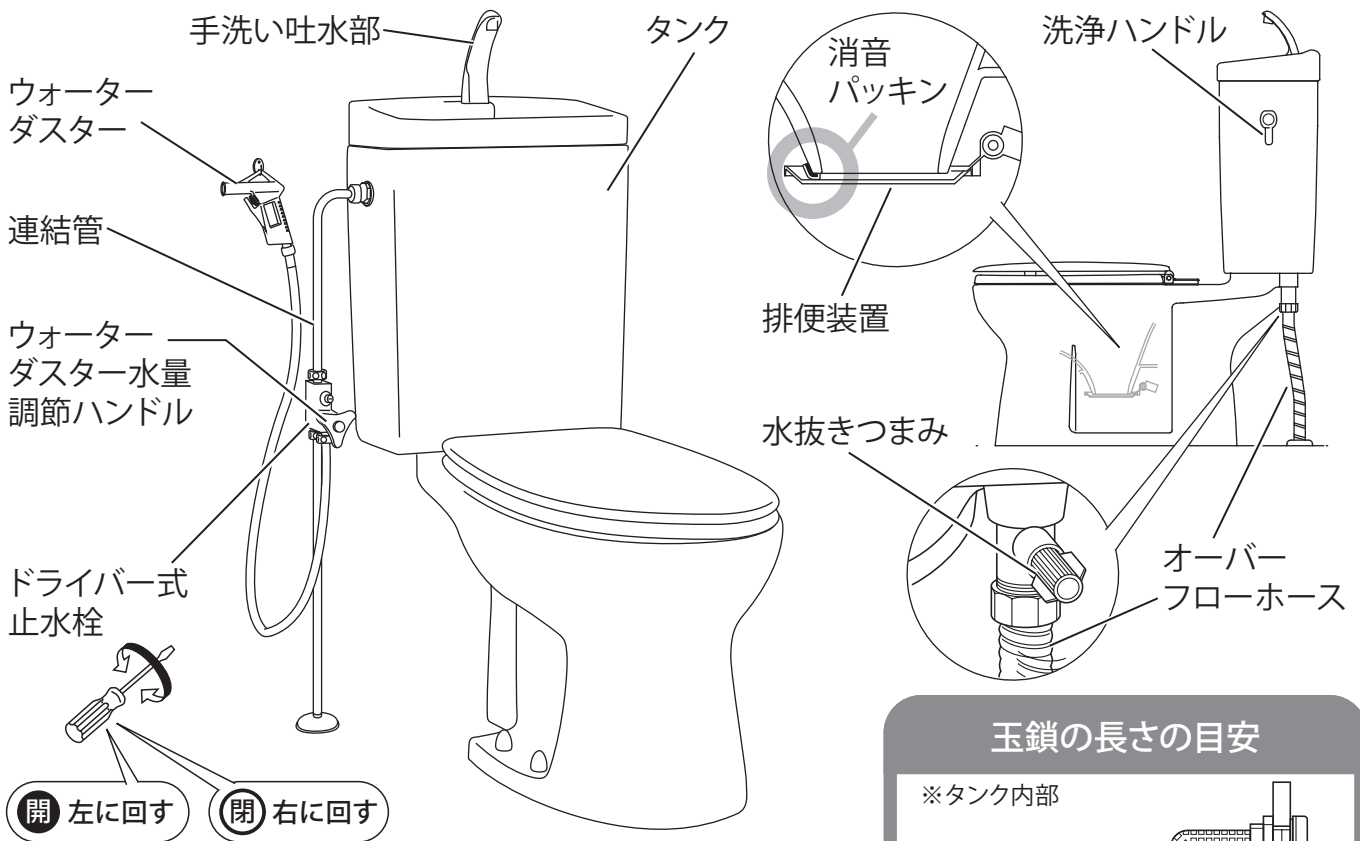
分解禁止

分解や改造を絶対に行わない

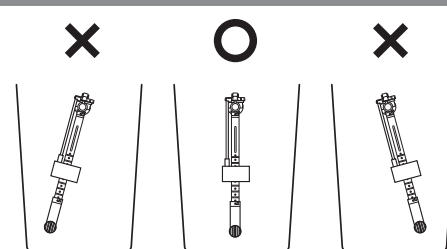
製品が破損してけがをしたり、漏水のため、家財などを汚す原因になることがあります。

1

## 各部のなまえ



### フィルバルブ (ボールタップ) 取付位置調整



フィルバルブ (ボールタップ) が斜めになると止水しない場合があります。そのときは、左図のように垂直になるように取り付けなおしてください。

## 2

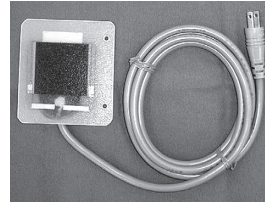
## 定格・仕様

### サンクリーン

		AF450	AF400
手洗い吐水部		有り	無し
重量		約4.4Kg	約4.2Kg
材質	便器本体	陶器	
	防臭機構	ABS	
防臭方式		オートフラッパー方式	
洗浄操作方式		洗浄ハンドル式	
使用水量		約500cc/回(約1秒)	

### タンク凍結防止用ヒーター(別売り品)

		RVX001
電源	AC100V	50/60Hz
消費電力	1.6W	



※使用限界室温：-5℃

※付属の取扱説明書に従い、施工および使用上のご注意を守って、正しく安全にご使用ください。

## 3

## ご使用方法

### ■洗浄ハンドル

ハンドルを手前に引いている間、タンクから便器へ洗浄水が流れます。またタンクへ給水が開始されると手洗い吐水部から手洗い水が流れます。(手洗い吐水部はAF450のみ付属)

※洗浄ハンドル操作時間が短すぎると手洗い水が流れない場合があります。最後まで確実に回し、手を離してください。

※洗浄ハンドルを長時間操作すると、**2**に記載の使用水量より、多くの水が流れます。

### ■ウォーターダスター

引き金を引くと洗浄水が出ます。

便器内が部分的に汚れた場合や日常のお手入れの際にご使用ください。

水勢が強すぎる場合は止水栓にあるウォーターダスター水量調節ハンドルで調節してください。

ご使用後は必ずウォーターダスター水量調節ハンドルを閉めてください。

効果的に洗浄するには、汚物の付着が少なくなるよう、以下の手順を推奨します。

- 洗浄ハンドルを回して便器内を濡らしてから使用する。
- トイレットペーパーを便皿の上に置いてから使用する。

## 4

## 日常のお手入れ

※P2の安全上のご注意をよく読んで、お手入れを行ってください。

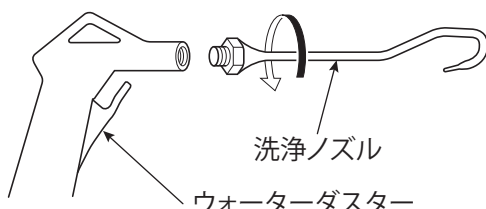
### ■便器

便器と便座の間に小水が入ると、便器の上に小水が溜まる場合があります。そのまま放置すると暖房・温水洗浄便座の基盤の腐食や床のシミ、腐食の原因となることがありますので、こまめにお手入れをしてください。

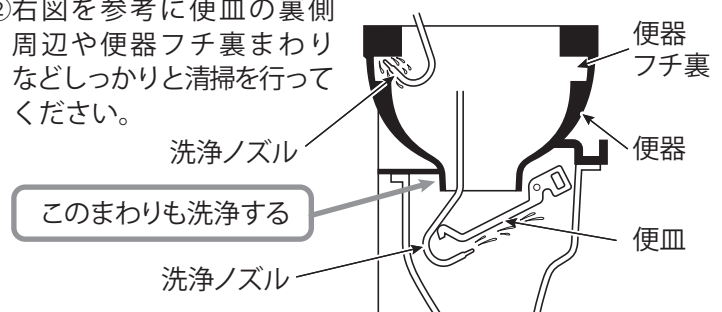
### ■便皿および便器フチ裏周辺

便皿の裏面に汚物などが付着すると重みで傾き、便皿に水が溜まらなくなり、室内に臭気が上がることがあります。便器フチ裏まわりは小水の飛び散りなどで臭気が発生したり、汚れが溜まると洗浄水の流れが悪くなります。以下の手順で清掃を行ってください。

- ①ウォーターダスターに洗浄ノズルを手でねじ込む。



- ②右図を参考に便皿の裏側周辺や便器フチ裏まわりなどしっかりと清掃を行ってください。



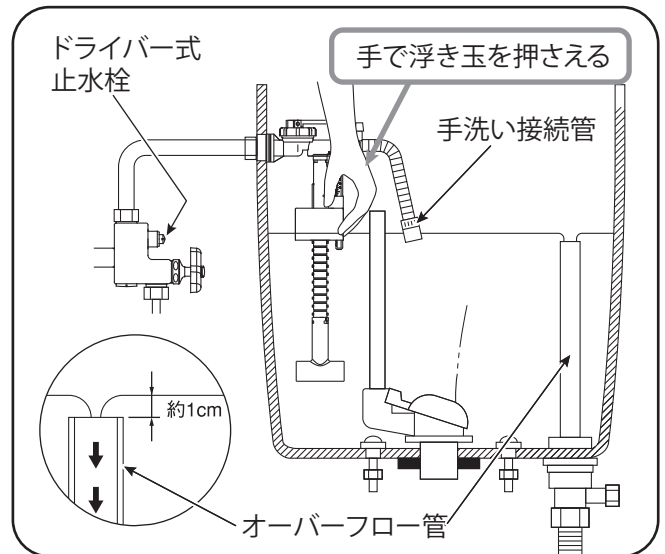


## 5

## 止水栓の流量調節方法

万一、フィルバルブ（ボールタップ）が故障し、水が止まらない場合でも、タンクから水があふれないようにするために流量の調節はかならず行ってください。

- ① 止水栓を閉めて、タンクのふたを取る。
- ② 水が飛び散らないように、手洗い接続管を下図のように下に向ける。
- ③ 浮き玉を押さえ、止水栓を少しずつ開く。
- ④ オーバーフロー管より水があふれはじめたら、水位がオーバーフロー管より1cm以上、上昇しない程度の流水量に止水栓の開きを調節し、浮き玉から手を離す。
- ⑤ 手洗い接続管を上に向けて、手洗い吐水管と接続し、タンクにふたをする。



## 6

## 凍結防止について

使用環境に対し、最適な方法で凍結を防止してください。

### ■ トイレ設置空間の室温を0℃以上に暖める

※暖房器具は便器、便座、排水ホースに近づけすぎないでください。

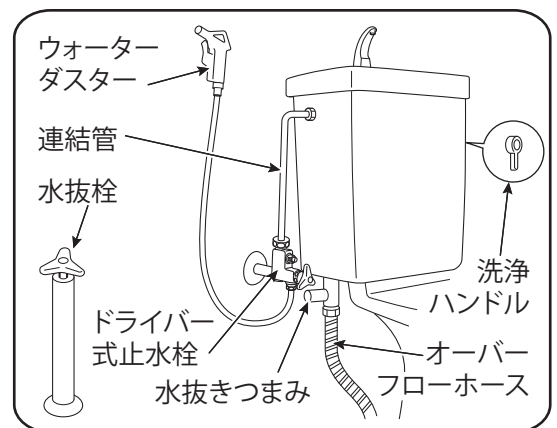
### ■ タンク内にヒーター（別売り品）を設置したり、水道凍結防止帯（市販品）などを使用する

※タンク凍結防止用ヒーター：RVX001

※別売り品、市販品を使用される時は必ず、それぞれの製品の取扱説明書、施工説明書に従って、正しく施工し、安全に使用してください。

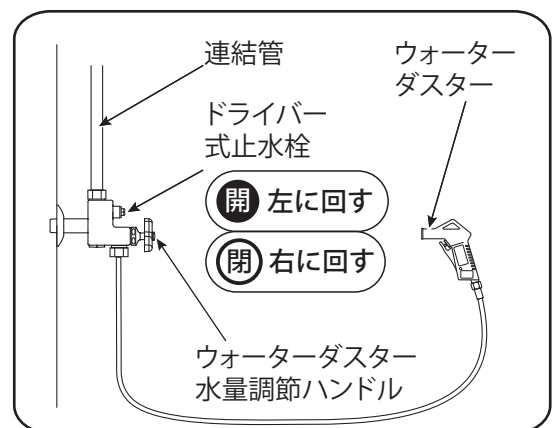
### ■ タンクとウォーターダスターの水抜きを行う<水抜栓（市販品）工事がされている場合>

- ① 水抜栓を操作し、給水されない状態にして、止水栓を**全開**にする。
- ② 水抜きつまみを左に2～3回転させ、洗浄ハンドルを回して、タンクの水を抜く。
- ③ ウォーターダスター水量調節ハンドルを**全開**し、ウォーターダスターのホースを止水栓からはずし、2～3回空打ちして、ダスターおよびホース内の水を抜く。



### ■ タンクとウォーターダスターの水抜きを行う<水抜栓（市販品）工事がされていない場合>

- ① 止水栓を**閉め**、水抜きつまみを左に2～3回転させ、洗浄ハンドルを回して、タンクの水を抜く。
- ② ウォーターダスター水量調節ハンドルを**閉め**、ウォーターダスターのホースを止水栓からはずし、2～3回空打ちして、ダスターおよびホース内の水を抜く。



※バケツなどで水を受けてください。

※ウォーターダスターのホースは樹脂ナットです。工具は使わないでください。

<症状> 洗淨ハンドルを回しても、水が出ない  
(タンクに給水されない)

原因	止水栓が開まっている
処置	止水栓を開く
原因	フィルバルブ (ボールタップ) の故障
処置	新品に取り換える
原因	ストレーナーのゴミつまり
処置	ストレーナーの清掃を行う

<症状> 便器を流れる水の勢いが弱い

原因	玉鎖のたるみが大きい
処置	玉鎖の長さ調節を行う ※ 1 各部のなまえ を参照

<症状> ウォーターダスターが止水できない

原因	ゴミつまり
処置	分解して清掃を行う
原因	凍結、経年劣化などによる故障
処置	新品に取り換える

<症状> 便皿が開きにくい

原因	排便管内に物がつまっている
処置	つまりを取り除く
原因	便槽が満タン
処置	汲み取る

<症状> 洗淨ハンドルを離しても、便器に水が  
流れ続けて止まらない

原因	玉鎖が短い、もしくは長すぎる
処置	玉鎖の長さ調節を行う ※ 1 各部のなまえ を参照
原因	浮きゴムに異物が引っ掛かっている
処置	異物を取り除く
原因	浮きゴムの劣化、消耗
処置	新品に取り換える

<症状> 洗淨ハンドルを離しても、タンクの  
給水が止まらない

原因	フィルバルブ (ボールタップ) が傾いている
処置	真っすぐ (床面に対して垂直) に調整する ※ 1 各部のなまえ を参照
原因	フィルバルブ (ボールタップ) の故障
処置	新品に取り換える

<症状> 止水栓を全開しても、手洗い吐水管から  
の吐出水量が少ない

原因	ストレーナーのゴミつまり
処置	ストレーナーの清掃を行う

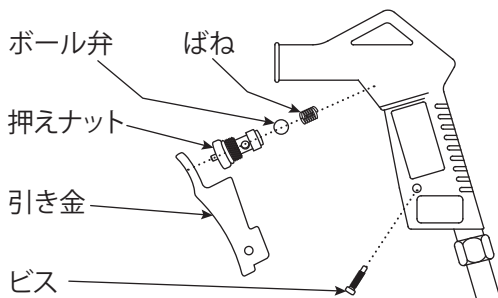
<症状> 便皿が開いたまま

原因	便皿の裏に汚物が付着している
処置	洗淨ノズルで汚物を洗い落とす

※ 臭突トップの電動ファンが原因の場合もあります。  
本製品との併用は推奨しておりません。

### ウォーターダスターの清掃方法

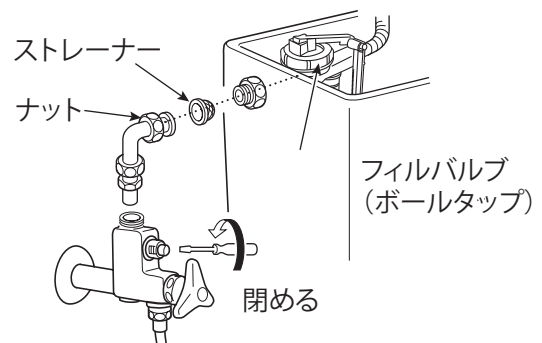
- ① 止水栓を閉める
- ② ビスはずし、引き金を取りはずす
- ③ 押えナットをゆるめてはずし、ボール弁とばねを取り出して、内部を洗淨する
- ④ 洗淨後は②～③の逆の手順で組み立て、止水栓を開く



※ 分解、洗淨、組み立て後は引き金の動作確認と漏水のないことを確認してください。

### ストレーナーの清掃方法

- ① 止水栓を閉める
- ② ナットをゆるめて、ストレーナーを取り出して清掃する
- ③ 洗淨後は②の逆の手順で組み立て、止水栓を開く



※ 分解、洗淨、組み立て後は漏水のないことを確認してください。

# 保 証 書

保証期間	品 番	期 間（据付引き渡し日から）
		2 年 間
据付引き渡し日	年	月 日
お客様	ご住所： お名前：	電話：
販売店 または 取付店	住所： 店名：	電話：

上欄に記入のない場合は、無効となりますので、必ず記入の有無を確認ください。

## 《無料修理規定》

- 取扱説明書・本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合に無料修理をさせていただきます。
  - 無料修理をご依頼になる場合には、お買上げの販売店または取付店、またはアサヒ衛陶(株)お客様サービスセンターにお申し付けください。
  - 出張修理に際しては本書をご提示ください。
- 保証期間内でも、次の場合には原則として有料修理になります。
  - 使用上の不注意、過失による不具合および不当な修理や改造、分解、破壊行為による故障および損傷。
  - 正しい施工がされなかった時。
  - お取付後の移設、輸送、落下等に起因する故障および損傷。
  - 車輛・船舶等に搭載された場合に生じる故障および損傷。
  - 建築躯体の変形など製品以外の不具合に起因する当該品の不具合。
  - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化水素ガス等）、煤煙、砂塵、金属粉、凍結、異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）、CISPR（国際無線障害特別委員会）規格外の特種ノイズ等による故障および損傷。
  - 離島又は離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費。
  - 表面仕上げまたは消耗品類（パッキンなど）の経年劣化や使用に伴う汚れ、摩耗劣化、色褪せ、さび、カビ等による変質、変色等の不具合。
  - 汚れなど通常のお手入れ不足による不具合および使用禁止薬剤の使用等適切な維持管理がなされなかった場合。
  - 一般家庭用以外（例えば業務用等）に使用された場合の故障および損傷。
  - 小動物（犬、猫、ネズミ、昆虫等）の行為や残留物および植物の蔓や根など害に起因する不具合。
  - 他社製品に起因する故障および損傷。
  - 指定以外の水質（水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水）の給水時における異物の詰まりなどによる故障及び損傷。
  - ゴミを噛んだり、水道管の鉄さび、砂、水あか、ぬめりが固着したことによる不具合。
  - 本書のご提示が無い場合。
  - 本書に据付引き渡し日、お客様名、販売店又は取付店名の記入の無い場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

3. 本書は、日本国内においてのみ有効です。

4. 本書は、再発行致しませんので大切に保管してください。

\*この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、「取扱説明書」に記載のお客様サービスセンターにお問い合わせください。



アサヒ衛陶株式会社

〒540-0028 大阪府大阪市中央区常盤町1丁目3-8  
中央大通 FNビル 10F

# アフターサービスについて

## 保証書と保証期間について

保証書は、販売店又は取付店で所定事項を記入のうえ、お渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

**保証期間は、据付け引渡し日から2年間です。**

保証期間内でも有償になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

## 補修用性能部品の保有年数について

簡易水洗の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）の保有期間は製造打ち切り後 10 年です。なお、補修用性能部品の保有期間内であっても、商品によっては代替品にて対応させていただくこともありますのでご了承ください。

## 部品の交換について

無償修理により交換された部品・製品は、アサヒ衛陶(株)の所有となります。

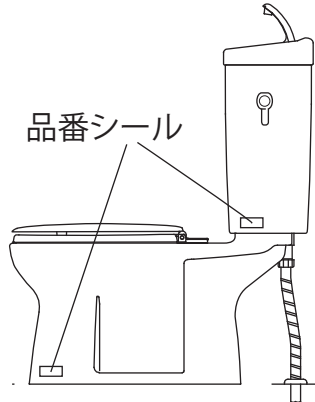
## 修理を依頼されるときは

もう一度、説明書をよくお読みいただき、それでもなお異常のある時はお買い求めの販売店、取付店、またはアサヒ衛陶(株)お客様サービスセンターに修理をご依頼ください。

※修理に際しては保証書が必要となります。保証書の規定に従って修理をさせていただきます。

### ● 連絡していただきたい内容

- ①住所、氏名、電話番号
- ②商品名
- ③品番 例) C246(便器)、T1246(タンク)  
※ 便器、タンクとも正面から  
右手側面に表示



④据付け引渡し日が記載された保証書の有無

⑤故障内容、異常の状況  
出来るだけ詳しくご説明ください。

## 保証期間が過ぎているときは

修理をすることで使用できる商品については、ご希望により有償で修理をさせていただきます。

※修理代金 **技術料** + **部品代** + **出張料** で構成されています。

## ● 商品のお問い合わせ・修理のご相談

全国でアフターサービスの対応を行っております。商品に不具合が生じた場合は、商品品番をお確かめの上、お客様サービスセンターまでご連絡ください。

受付時間 / 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・夏期休暇・年末年始・弊社所定の休日等を除く)



**06-7777-2067**

ナビダイヤル ▶ 音声ガイダンス【1番】へご連絡ください。

インターネットからも修理のお申し込みが可能です。  
アサヒ衛陶ホームページ  
<http://www.asahieito.co.jp/>



**アサヒ衛陶株式会社**  
ホームページ : <http://www.asahieito.co.jp/>